

広島県知事の湯崎です。

7月に入り、感染者が急速に増え、専門家からも現在、第2波の入り口に差し掛かっているとされています。

そこで、県では「攻めの第2波対策」として、新型コロナウイルスから広島県をガードしていく「広島積極ガード宣言」に取り組みます。

まず、行政は、検査体制の拡充や対象を拡大することで徹底した早期の新規感染者の把握等による感染拡大防止対策に取り組みます。

また、県民の皆さま、事業者の皆さまにも徹底した感染予防対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

マスク着用や手洗い等の予防策はもとより、感染防止対策を講じている取組宣言店の積極的な利用、そして、国の接触確認アプリや県が今後導入する店舗QRコードの活用等です。

県民と事業者の皆さま、そして行政が今こそ連携して、新型コロナウイルスに対する警戒を強化して、第2波到来を一丸となって阻止し、この広島を守っていきましょう！